

新宗連と8・14式典の歴史と意義学ぶ

青関連 平和学習会2017を開催

新日本宗教育青年会関東連盟(青関連)は、8月11日午後2時から、東京都杉並区の立正佼成会本部で「平和学習会2017」を開催した。

同学習会は「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典(8・14式典)」の事前学習会を兼ね、同式典の実行委員会を構成する青関連が主催。式典の実行委員・奉仕者の心づくりと首都圏の加盟教団青年に同式典をPRし、参列を呼びかけるため毎年開催している。

特に今年は、青関連が結成されて60年の節目に当たり、新日本宗教育青年会(新宗連)と「8・14式典」の意義・歴史を学ぶとともに、世界平和について考える内容となった。「プロごとに自由に話し合った」と、山田新宗連連盟委員長があいさつした。

この後、山田新宗連連盟委員長が、新宗連と「8・14式典」の歴史について講話。その中で山田総局長は、新宗連が戦前の苦難の経験に基づき、「信教の自由」を守ること、世界の平和に貢献することを大きな目的として結成されたこと、その願いが、「8・14式典」に込められた先師先達の願いについて学びを深め、式典に向かう心を新たにしたいと述べた。

平和使節団派遣や地方連盟環境整備など協議

新宗連青年会 委員会

新日本宗教育青年会連盟(新宗連青年会)は、8月13日午後2時から、東京・代々木の新宗連会館で平成29年度第3回委員会を開催した。

審議事項では、翌日開催する第52回「8・14式典」当日の動きを検討、確認。続いて7月8、9日に開催した「ユースフォーラム2017」の報告が行われた。今後のユースフォーラム運営について受け入れの地方連盟と連携する新宗連青年会の役割分担、またユースフォーラム受け入れの順番などについて意見交換を行った。

小憩の後、「第26次アジア青年平和使節団」の派遣趣旨、行程についてそれぞれ承認し、実施時は来年2月19・25日で調整を行うことを承認した。

京都府協議会(佐藤益弘議長)の青年部(古田雅章部長)は、7月24日(古田雅章部長)は、日本3大祭りの一つ「祇園祭」の後祭の山鉾巡行の曳き手ボランティアに参加することとした。

12月5日に開催する「第6回青少年育成セミナー」については、解断会本部(東京・四谷)を会場として開催する。講師の国際ビブレンターズ東京自殺防止センターからの要請により参加者を30人に限定することを提案し、これを承認した。

続いて、地方連盟の活動用として作成した「旅費交通費に関するガイドライン(案)」を提案し、同ガイドラインを今後の地方連盟における予算執行の参考としていくこととした。また、地方連盟の環境整備の一環として平成29年度中に「代表者会議」を開催することを提案し、これを承認した。



「信教の自由」と世界平和が「8・14式典」で象徴的に表現されている一と山田総局長の説明を熱心に聞く参加者

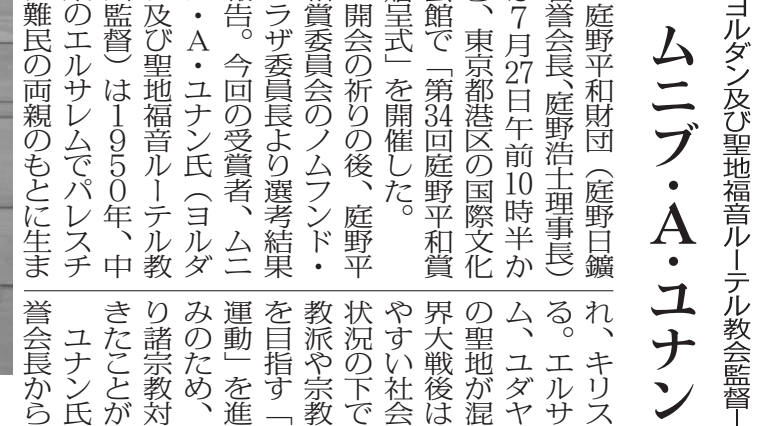


「祇園祭」山鉾巡行で曳き手ボランティア

京都府協議会(佐藤益弘議長)の青年部(古田雅章部長)は、7月24日(古田雅章部長)は、日本3大祭りの一つ「祇園祭」の後祭の山鉾巡行の曳き手ボランティアに参加することとした。



地元の伝統を次代に継承するため6年前から参加。今年には後祭を担当(左が浄妙山)



表彰状を手にしたユナン氏(左)と庭野名譽会長(右)

【諸会議報告】今年度事業の推進を協議

新宗連同和推進協議会(同推進)は、7月27日午後2時から、東京・代々木の新宗連会館で「第24回諸議会議」を開催した。諸議会議は、諸議会議の報告と今後の予定について確認した。報告の後、諸議会議の報告と今後の予定について確認した。報告の後、諸議会議の報告と今後の予定について確認した。

【諸会議報告】今年度事業の推進を協議

新宗連同和推進協議会(同推進)は、7月27日午後2時から、東京・代々木の新宗連会館で「第24回諸議会議」を開催した。諸議会議は、諸議会議の報告と今後の予定について確認した。報告の後、諸議会議の報告と今後の予定について確認した。

「絶対非戦」への誓いを新たに

新宗連青年会委員長 岩淵明大



本日、第52回「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典」に各界のご来賓をはじめ、新宗連加盟教団の代表者、信徒・会員の皆さま方に、多数ご参列をいただき、主催者を代表して厚く御礼申し上げます。また、全国各地より平和の祈りが込められた、たくさんの折鶴をご奉納いただき、心から感謝申し上げます。

新宗連青年会は、本式典の「祈りと行動」の精神を次世代に継承するため、戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典を、戦前・戦中・戦後の歴史を振り返り、戦後72年を経た今日においても、紛争やテロによって、罪もなない人々が亡くなり、その根柢が深く、思想の違いが、結ばれていないままに、先達の志を力強く継承してこられた青年会の活動に敬意を表するとともに、本日ご参列くださいました皆さまの心が、戦争犠牲者の御霊へと届きますように、そして、戦争の現実を直視し、平和の祈りを込められた折鶴を、心から感謝申し上げます。

新宗連青年会は、本式典の「祈りと行動」の精神を次世代に継承するため、戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典を、戦前・戦中・戦後の歴史を振り返り、戦後72年を経た今日においても、紛争やテロによって、罪もなない人々が亡くなり、その根柢が深く、思想の違いが、結ばれていないままに、先達の志を力強く継承してこられた青年会の活動に敬意を表するとともに、本日ご参列くださいました皆さまの心が、戦争犠牲者の御霊へと届きますように、そして、戦争の現実を直視し、平和の祈りを込められた折鶴を、心から感謝申し上げます。

あらゆる違いを乗り越えて

新宗連理事長 保積 秀胤



第52回「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典」の開催にあたり、新宗連を代表致しまして、ご挨拶を申し上げます。

そして、新宗連加盟教団に所属する多くの青年たちが、それぞれの信する教えに基づいて、「平和」を祈り、「戦争」によって、自分たちと同じような戦争で犠牲となられたすべての

人々の心に平和の思いを

新宗連青年会九州連盟 力久 美雪



6日から3月12日の7日間、同じフリリンで父親を亡くした全国から集まった戦争孤児126名と共にフリリンミラヘン、感動的親訪問に参加しました。祖母の話では、皆さんが大切なものをなくした悲しみに暮れていた人も数え切れないほどいたでしょう。

私の祖母も大切な人をなくした人です。祖母が2歳の時、祖母の父がフリリンのパレテ峠で戦死しました。祖母は、終戦から63年経った平成20年3月



六角堂前に青少年が整列し、「ふるさと」を合唱

母の姿を見て、戦争を二度と起こしてはならないと平和に対する思いを強くしました。

その思いをさらに強くしたのは、善隣教で行なっている平和活動です。善隣教ではこれまで40年間、被爆された韓国の方々のために「韓国被爆者救済基金」を全国で行なっています。

その基金を「青年平和の翼」で義捐金として毎年5月、韓国の被爆者協会に届けます。

私は、高校1年生の時に初めて「青年平和の翼」に参加しました。そこで被爆した韓国の方のお話を聞かせて頂きました。あるおばあさんは広島で被爆した後、韓国に帰って苦しい生活

「祇園祭」山鉾巡行で曳き手ボランティア

京都府協議会(佐藤益弘議長)の青年部(古田雅章部長)は、7月24日(古田雅章部長)は、日本3大祭りの一つ「祇園祭」の後祭の山鉾巡行の曳き手ボランティアに参加することとした。

【諸会議報告】今年度事業の推進を協議

新宗連同和推進協議会(同推進)は、7月27日午後2時から、東京・代々木の新宗連会館で「第24回諸議会議」を開催した。諸議会議は、諸議会議の報告と今後の予定について確認した。報告の後、諸議会議の報告と今後の予定について確認した。

【諸会議報告】今年度事業の推進を協議

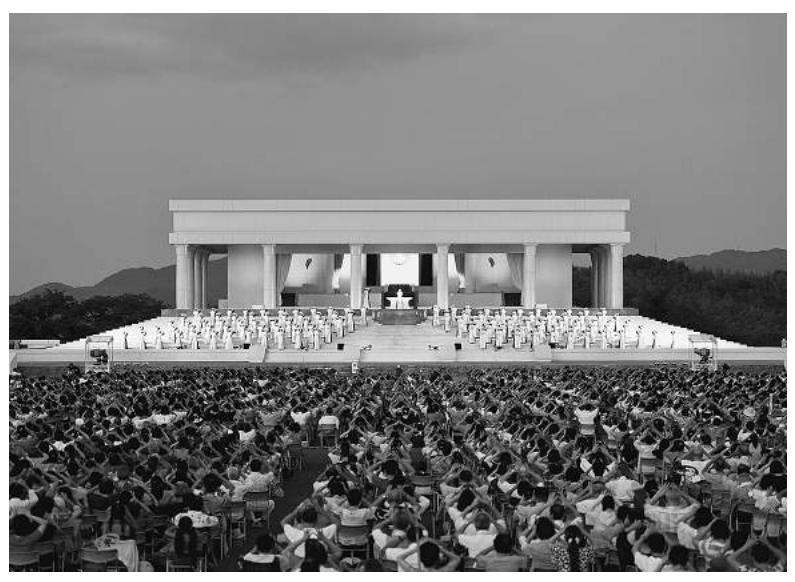
新宗連同和推進協議会(同推進)は、7月27日午後2時から、東京・代々木の新宗連会館で「第24回諸議会議」を開催した。諸議会議は、諸議会議の報告と今後の予定について確認した。報告の後、諸議会議の報告と今後の予定について確認した。

【諸会議報告】今年度事業の推進を協議

新宗連同和推進協議会(同推進)は、7月27日午後2時から、東京・代々木の新宗連会館で「第24回諸議会議」を開催した。諸議会議は、諸議会議の報告と今後の予定について確認した。報告の後、諸議会議の報告と今後の予定について確認した。

「海から空へ」テーマにPL花火芸術 歴代教祖の遺徳に感謝を捧げ

世界平和招来を祈念 教祖祭 PL



平山祭記長が祭文を奏上。大平和社会実現のための献身を誓う

を奏上。初代教祖、第二代教祖の遺徳を称え、世界中のPL信者がおしよる、世界平和の遂行によって救われていたことに深い感謝を捧げた。併せてPL花火芸術に思いを寄せ、大平和社会実現のために一層の献身に励む決意を誓った。

御木貴正教主が御木美智代夫人(祐祖 教務総長)と共に、中央の遂断台で大平神霊の前に進み「おしよるや遂断」を行った。続いて、参列者に向かい、会場全体を見渡しながら、両手を左右に大きく広げ「祝福の神事」を行った。起立した参拝者は「無我の式」の姿勢で神事を拝し、教主を一心に見詰めた。教主は「感謝の祈りを捧げた」。

この後、午後8時から音と光とが競演する「PL花火芸術」に移り、初代教祖の遺志を受け二代教祖が始めた平和招来を祈念する花火が次々に打ち上げられ、光の芸術を繰り広げた。今年には「海から空へ」をテーマとする演出となった。

最大上空300m、直径310mに広がる尺玉が次々に夜の空に大輪の花を咲かせ、終幕のスターマイン

パーフェクト リバティ 教団(PL) 御木貴正教主は8月1日、大阪府富田市の聖地で、初代教祖御木徳一師、二代教祖御木徳近師の遺徳を称え、世界平和を祈念する「教祖祭」を国内外からの会員が埋めつくす中、厳粛に挙行政した。

午後7時10分、典礼係が

立教当時の思いに立ち返り 第51回立教祭 救世真教

救世真教新井光興会長は8月3日午前10時から、群馬県高崎市の本部聖地で「第51回立教祭」を執り行った。

式典はひろく太鼓により開幕。参列者一同で「誓いの信条」を唱和した後、高主の新井光興会長が「立教祭祝詞」を奏上した。続いて高主と参拝者代表が玉串奉奠を行った。

この後、参列者一同による「天津祝詞」奏上と「立教祭御歌」唱和に続き、「教主様に感謝の礼拝」「萬霊位に供養の礼拝」を行い、新井会長が参列者に向けて「御浄霊」を行った。続いて小野田松造教主の生涯をたどるDVD映像「教主様」を上映した。

新井会長が「御教え」に立ち、「教主様が信仰に入られた当時の映像に優



新井会長が「御教え」に立ち、立教当時を懐かしく振り返った

しさと力強さを感じた。特に昭和41年に、強い決意と熱き思いで立教された当時の思いに立ち返った」と述べた。

また、現在の聖地の選定と開拓の様子には参拝者の顔もあやうく、当時を懐かしく振り返った。そして「本日」を立教51周年の新たな出発にして行こう」と説いた。

式典は教団歌「教えのまに」を参列者一同で斉唱し終了した。

八津御嶽神社(山本行徳宮司)は7月30日午後2時から、東京都中央区の同神社で「立教記念大祭」を斎行した。

祭儀は参拝者らによる「感謝の御幣奉納の後、齋主の山本行徳宮司と参員が入場し、座。参列者一同と身置、同を奏上した。

「霊動霊感」は、今日まで伝授され続けていることを述べ、「大神様への思いを引き継いできた105年の重みがあり」と述べ、「私たちが救う大神様、開教祖様の御陰をあらためて思い起こし、魂を磨いてい



齋主が立教大祭祝詞を奏上

「お陰」を思い 魂を磨いて
立教記念大祭 八津御嶽神社

身する決意を新たに。続いて御木教主と美智代夫人がゆづくりと神前に進み、聖花を献上し、遂断台に聖花を献上し平和を祈念した。

国内外の団参員をはじめ、新宗連加盟教団からも参列者があった。

子どものため 平和を願う 救祖51年祭 大日然教

大日然教(折茂美枝代表役員)は8月7日午前10時半から、東京・西新堀の本部で折茂なみ救祖の「五十一周年祭」を斎行した。

折茂救祖は夫と6人の子と死別するという悲壮な人生の中で、1940(昭和15)年10月に神示を受け、42(同17)年以後、66(同41)年8月7日に72歳で昇天するまでの24年間、大神の正導によりひたすら人心救済に努めた。

祭典は太鼓の音で開式し、折茂美枝代表役員が祭主となり、参列者による「立教祭祝詞」を奏上し、折茂美枝代表役員が「五十一周年祭文」を奏上し、一年祭文を奏上し、救祖の生涯と教え、信者に対する救いを称え、感謝を捧げた。

この後、玉串奉奠を齋主と来賓、参列者が行い、一同で「大日然教奉唱歌」を斉唱し祭典を終了した。

保土ヶ谷支部長の井上正義氏があいさつ。父に代り、青年時代から救祖に接し、自身も多くの救いを頂いた思い出を語り、「私が今あるのは、大神様、ご救祖様のお陰です」と感謝の思いを述べた。

また、前日6日に広島市で「原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式」が開催されたことに触れ、かつて夫の折茂正光教主と共に広島市と長崎市の平和(記念)公園を訪れたことを振り返り、折茂代表役員が「救祖は救済の神である」と述べ、救祖の御陰をあらためて思い起こし、魂を磨いてい

「怒みは怒みによって止むことはなく、ただ慈悲のみによって止む。これは永遠の真実である」という法句の精神によって怒りの連鎖を断つことが人間の悲願です」と述べた。読経供養後、齋主が「ご法話」を述べ、その後の苦勞、信仰によって救われた経験などを語った。

齋主が「ご法話」を述べ、その後の苦勞、信仰によって救われた経験などを語った。

立正佼成会(庭野日鏡會長)は8月15日午前9時から、東京都杉並区の本部で「戦争犠牲者慰霊・平和祈願の日」式典を開催した。

お題目唱、会員綱領唱和、会歌斉唱と続き、ナレーションを聴き、戦争の悲惨さ、平和の尊さについてかみしめた。

東京東支教会学生部員代表16人による奉納の儀で祭壇を荘厳した後、庭野日鏡會長を導師に、読経供養を行った。続いて、庭野日鏡會長の回向文を庭野次代会長が奏上。この中で園を訪れたことを振り返り、あらためて平和の大切さを語り、「未来を託す子どもたちのために、これからも平和であることを強く願います」と述べた。

腹立ちは感謝の足りなさ
立正佼成会

と感謝が足りないこと。そういう時は、自分自身に感謝の気持ちで足りないと理解することがとても大切」と感謝の重要性を述べた。

また、「親孝行は、親が亡くなった後が本番で、私たちが菩薩行をさせていただき、親に喜んでいただくことが本当の意味での親孝行」と述べ、「私たちが、あらゆるものから恩恵を受けて生きていられることに『有難う』と感謝し、親や、立正佼成会を築いてきた先達の方々に、親孝行で『平和の鐘』が撞かれ、参列者一同で黙祷を捧げた。

和の心をもって真行歩む
夏季大祭 天恩教

天恩教(鉢呂神龍教主)は8月18日午前11時半から、東京都豊島区の本庁前で、夏季大祭を斎行した。

齋主の鉢呂神龍教主と齋員が出席。鉢呂金太郎理事長の修辭に続いて「大祝詞」「夏季大祭祝詞」をそれぞれ奏上した。

鉢呂教主の参拝、玉串奉奠に続いて、理事長、来賓らが玉串奉奠した。式典後、参列者は「御神酒」「撒飯」を拝受した。

この後、真会に移り、式典の部の開会あいさつが行われた。鉢呂教主が「御真教」に関わった松原道大和尚の千賀久氏による来賓あいさつ後、真者を代表して敷

「御聖火の大祭典」を斎行
招福神事 天光教

大阪天王寺区の天光教(藤田真道代表役員)は7月23日、大阪府松原市内の特設祭場で「招福神事」を斎行した。

本部において営まれた「厄除祈願祭」とともに、個人除厄、招福はもとより、広く世界の平和と繁栄と幸福を招く、同教の重要な行事で、「御聖火の大祭典」といわれた。

この日正午、全国から参集した代表信徒が総本部で特設祭場に向かった。個人祈念した後、順次、研修館で提灯を受け取り、徒歩で移動(写真)。大型バスに分乗して大阪府松原市の特設祭場に向かった。個人祈念の後、各教会の提灯や、「世界の戦争御撲滅御実現」「世界的食糧危機の御解消」「世界の平和御樹立」などの祈願項目を記した大提灯を特設祭場に掲げ、神様に「至神大光大神様」を迎えて、「御聖火の大祭典」に入った。

大旗行事、祝詞奏上などの後、奉納された提灯などが白衣姿の青年によって聖火台に投げ入れられた。聖火は勢よく燃え上がり、参列者は一心に招福を祈願した。

35年を振り返る
追悼・平和祈願式典

三浦半島宗教者平和会議(議長 土田宗英大橋寺住職)は7月22日午前9時半から、神奈川県横須賀市の横須賀市文化会館で「第35回世界戦没殉難者追悼・平和祈願式典」を開催した。

野田頭氏(野田頭浩氏)は35年前、立正佼成会横須賀教団長として、式典開催に尽力した。

野田頭氏は戦中、苦勞して自分を育ててくれた母への感謝、世の為人の為に役立つと信仰の道に入った平和活動に努めた歩みを振り返った。そして「祈りの在り方は違っても、平和への思いはひとつ」との考えを述べ、祈りの在り方を、横須賀教団長に就任後、1982(昭和57)年に地元(諸宗社)と海軍神社による祝詞奏上、来賓代表者の玉串奉奠の後、諸宗教者による祈りが捧げられ、キリスト教、世界教団等による祝詞奏上、各宗教派系、新宗教(妙智教団・立正佼成会)による祈りや読経が続く(写真)の間、来賓代表者(写真)が献花を行った。この後、式典35周年を記念する祈りや読経が続く(写真)の間、来賓代表者(写真)が献花を行った。この後、式典35周年を記念する祈りや読経が続く(写真)の間、来賓代表者(写真)が献花を行った。

「万灯行進」奉納
天神祭に初参加、勇壮に舞う

大阪の夏の風物詩「天神祭」が7月23日から25日まで催された。大阪市の西区で催された。大阪市の西区で催された。大阪市の西区で催された。

氏音頭で乾杯した。直会の宴の部は、「青年部の歌」の合唱でオープニング。フラダンスやカラオケがにぎやかに執り行われた。

立正佼成会 大阪教団 万灯行進 奉納

追悼・平和祈願式典

各地で慰霊、平和を祈願

核兵器は「絶対悪」

広島市 原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式



広島市 原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式

核兵器の廃絶を訴えた。また、核兵器禁止条約に賛同し、核兵器禁止条約の締結を推進する。核兵器禁止条約に賛同し、核兵器禁止条約の締結を推進する。核兵器禁止条約に賛同し、核兵器禁止条約の締結を推進する。

色彩豊かな命輝かす

長崎県宗教者懇話会 原爆殉難者慰霊祭



長崎県宗教者懇話会 原爆殉難者慰霊祭

長崎県宗教者懇話会(会)が主催する「原爆殉難者慰霊祭」が8月28日(月)午後7時から、長崎市松山町の原爆落下中心地公園で開かれた。

核兵器の無い世界を

長崎市 長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典

長崎市長が「平和を祈る」と述べ、核兵器の無い世界を願った。核兵器の無い世界を願った。核兵器の無い世界を願った。

長崎市長が「平和を祈る」と述べ、核兵器の無い世界を願った。核兵器の無い世界を願った。核兵器の無い世界を願った。

終戦記念日・千鳥ヶ淵戦没者墓苑

諸宗教が追悼・慰霊行事



終戦記念日・千鳥ヶ淵戦没者墓苑

「開会の祈り」の後、讃美歌「このこゝろ」を合唱。讃美歌「このこゝろ」を合唱。讃美歌「このこゝろ」を合唱。

「開会の祈り」の後、讃美歌「このこゝろ」を合唱。讃美歌「このこゝろ」を合唱。讃美歌「このこゝろ」を合唱。

「開会の祈り」の後、讃美歌「このこゝろ」を合唱。讃美歌「このこゝろ」を合唱。讃美歌「このこゝろ」を合唱。

「開会の祈り」の後、讃美歌「このこゝろ」を合唱。讃美歌「このこゝろ」を合唱。讃美歌「このこゝろ」を合唱。

「開会の祈り」の後、讃美歌「このこゝろ」を合唱。讃美歌「このこゝろ」を合唱。讃美歌「このこゝろ」を合唱。

「開会の祈り」の後、讃美歌「このこゝろ」を合唱。讃美歌「このこゝろ」を合唱。讃美歌「このこゝろ」を合唱。



夢は平和だから描ける

夢は平和だから描ける。夢は平和だから描ける。夢は平和だから描ける。

大阪の今昔を学ぶ

支線のまちネットワーク

支線のまちネットワーク。支線のまちネットワーク。支線のまちネットワーク。

支線のまちネットワーク。支線のまちネットワーク。支線のまちネットワーク。

支線のまちネットワーク。支線のまちネットワーク。支線のまちネットワーク。

虚偽に基づく改憲案の問題を指摘

平和遺族会全国連絡会

虚偽に基づく改憲案の問題を指摘。虚偽に基づく改憲案の問題を指摘。虚偽に基づく改憲案の問題を指摘。

虚偽に基づく改憲案の問題を指摘。虚偽に基づく改憲案の問題を指摘。虚偽に基づく改憲案の問題を指摘。

虚偽に基づく改憲案の問題を指摘。虚偽に基づく改憲案の問題を指摘。虚偽に基づく改憲案の問題を指摘。

ひとりで悩まず電話して! ホントに辛い時って誰にもいえない...よね。

●必要に応じて面接をしています。
●手紙でのご相談にも応じています。
●秘密は守られます。
●相談は無料です(通話料はかかります)。
●金銭的な援助はできません。
●医療・法律・教育関係の助言や指導は、専門家をお願いします。
●特定の思想・宗教・政党などとは一切関係ありません。

NPO法人 国際ビランダーズ 東京自殺防止センター
03-5286-9090
年中無休、夜8時から翌朝6時まで
火曜のみ午後5時から翌朝6時まで